

付-6 管網計算結果(試算)

計算方法 DSM水道の配水管のうち、主要な幹線300mm以上の管網図を作成しKimara配水池より49,000m³/day、University配水池より160,000m³/dayを供給するものとして各管の流量、流速、水圧を試算することとした。なお、配水管における漏水量及び弁制御については考慮しない。

計算仮定

最大流量 日平均の2割増とする。

$$\text{KIMARA 配水池} \quad \frac{49,000 \times 1.2}{24 \times 60 \times 60} = 0.68 \text{ m}^3/\text{sec}$$

$$\text{UNIV. 配水池} \quad \frac{160,000 \times 1.2}{24 \times 60 \times 60} = 2.22 \text{ m}^3/\text{sec}$$

給水ヶ所 主要点28ヶ所

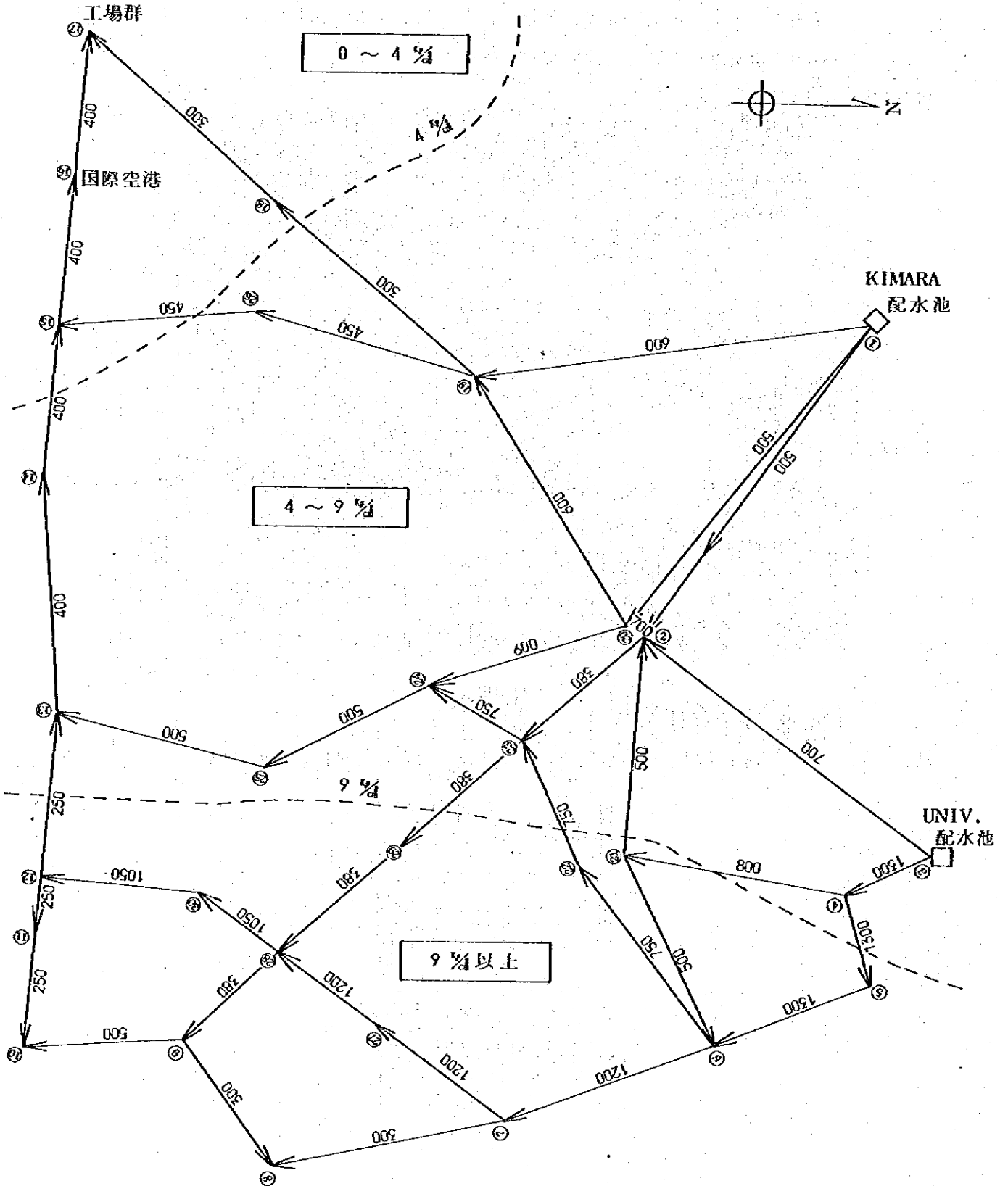
計算結果

CASE-1 28ヶ所に於て同一水量が給水されると仮定すると、高区である工場群、空港は水圧が低下していることが判る。

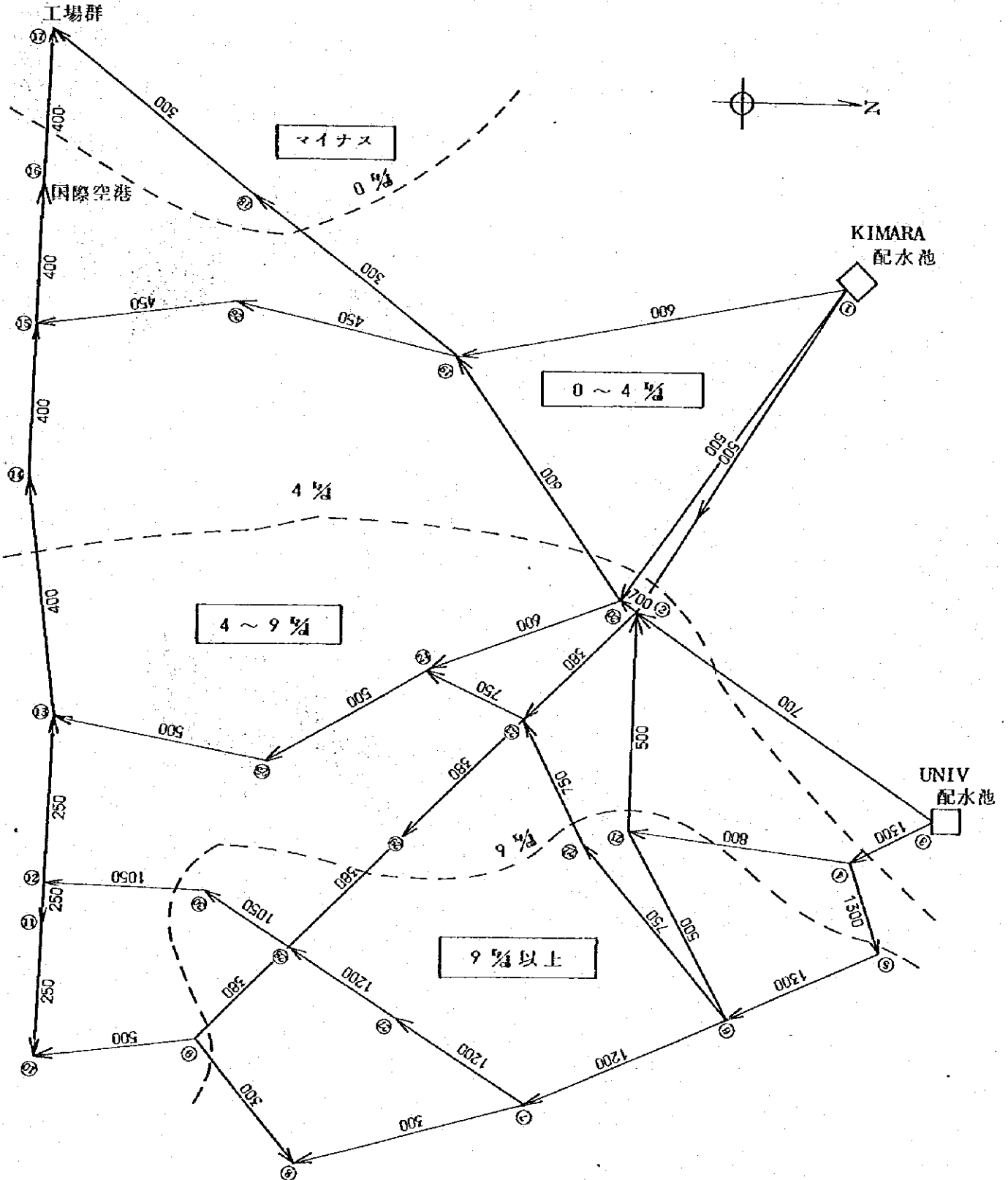
CASE-2 28ヶ所のうち人口が集中している低区で多く使用すると仮定すると、高区である工場群、空港は水圧がマイナスとなり水が行かないことが判る。

結 論 Kimara配水池から供給される水は、ほとんど低区に流れている。

水圧の分布 (CASE-1)



水圧の分布 (CASE-2)



JICA

